

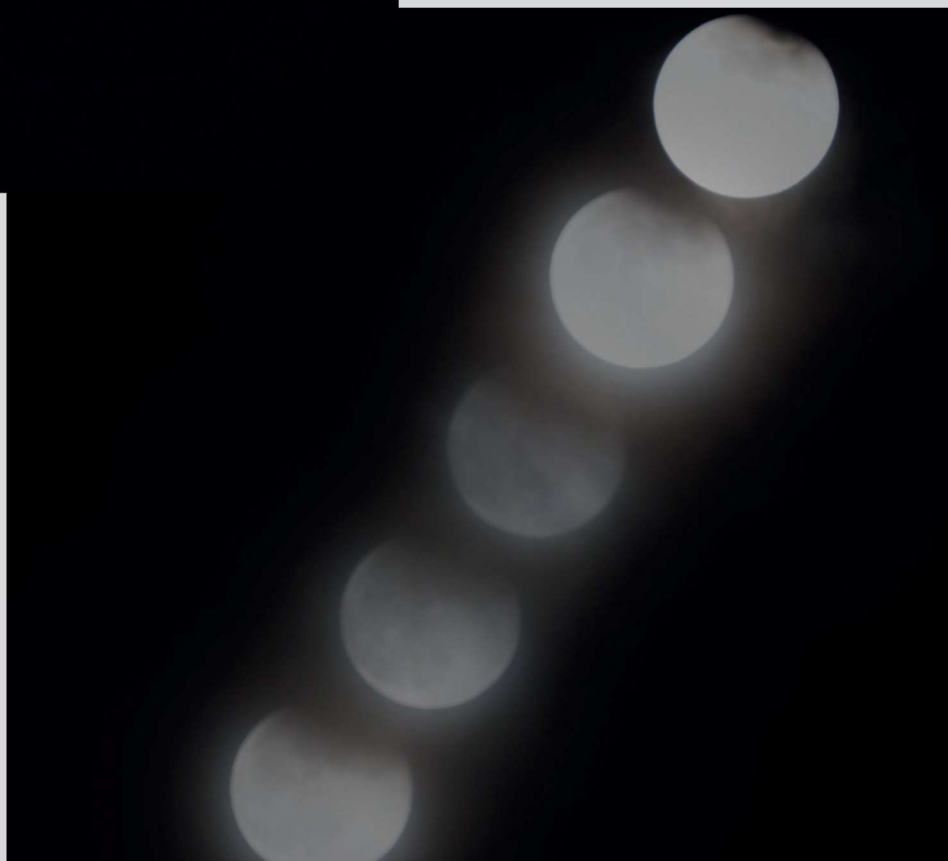
空と私

2012年自宅裏で撮影した
金環日食。日本の広い地
域で見られた現象。これ
程広域なものは前は平
安時代後期の1080年で次
回は300年後の2312年。



2022年11月8日
東海村豊岡海岸にて。
皆既月食を撮影。
下から上昇しながら徐々に
欠け始め、あと少しで
全部地球の影の中に入り
皆既月食となった。

同上の皆既月食の後半。
地球の影から徐々に出て
きて下から上方向に進み
月食が終わる直前。
月の色が上と下で違うの
は周りの明るさの関係に
よる。



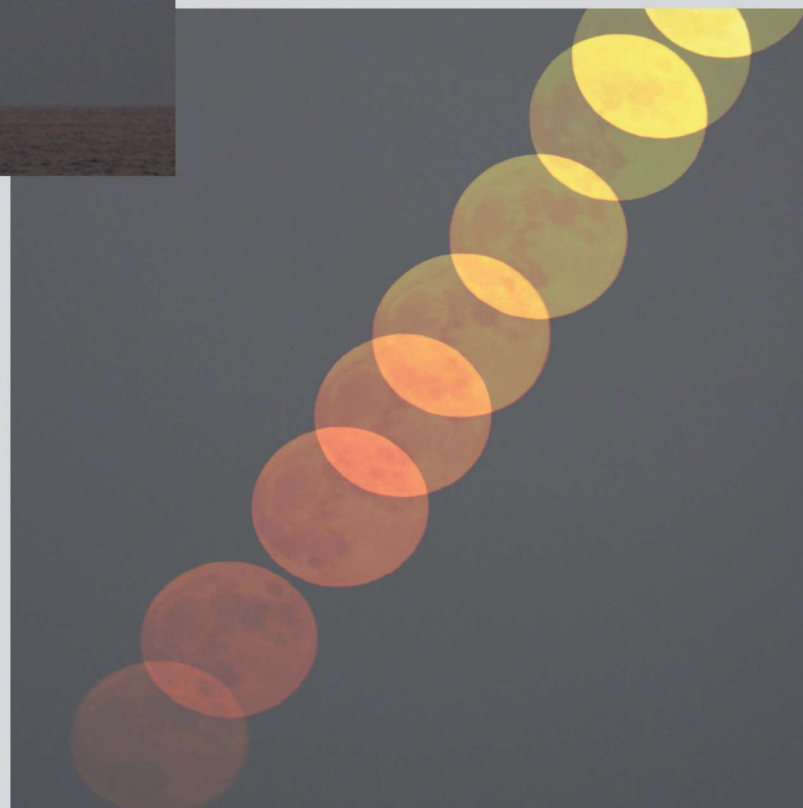


2023年9月29日

日立市久慈浜海岸にて。

天気に恵まれて海面から上がる
中秋の名月と重なる9月の満月
を捉えることができた。月が楕
円状に見えるのは上空に比べ空
気層が厚いため。尚、海上で満
月の下を大洗行きの日原ワ
ンが通過。

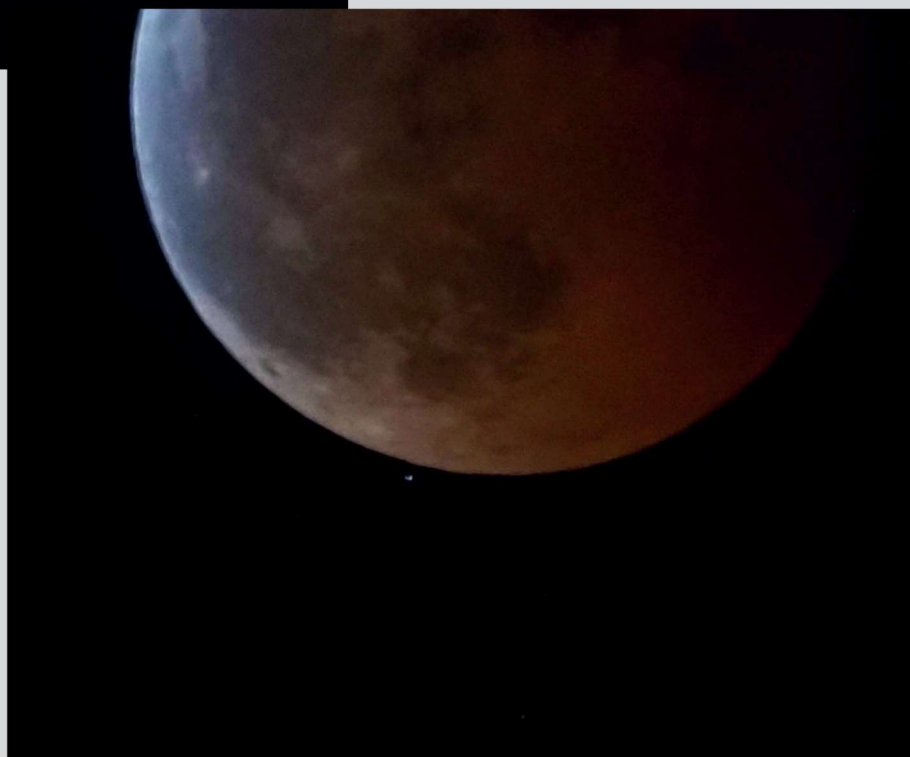
中秋の名月とは旧暦の8月
15日の月のことだが2021
年から2023年は新月から
満月までの日数が短い。
従って中秋の名月と満月
が重なった。東から東南
東に上る。次回は7年後の
2030年に見られる。

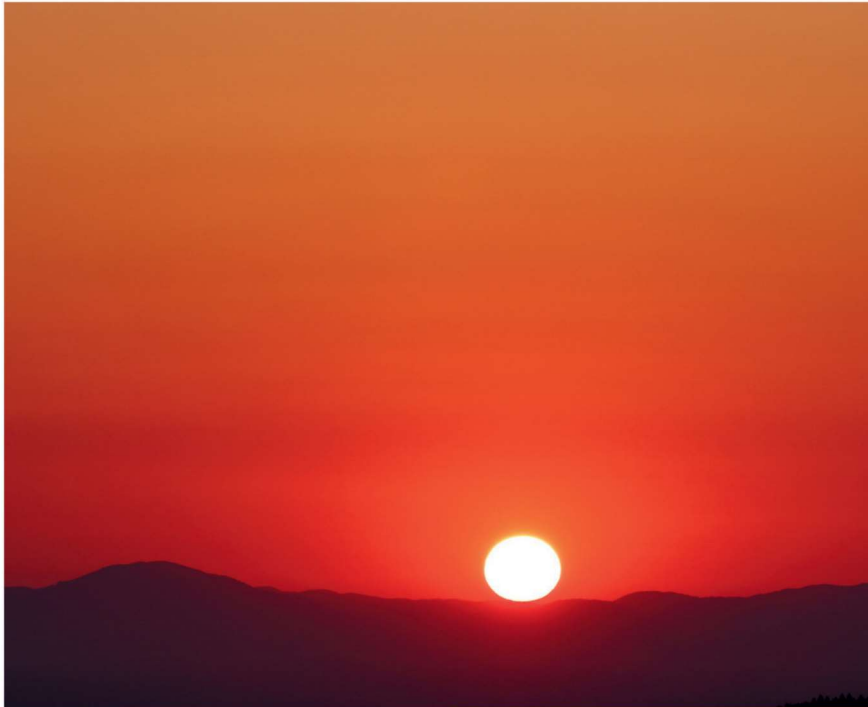




2023年8月31日
東海村豊岡海岸にて。
8月は満月が1ヶ月に2回あ
って後半の満月はブルーム
ーンと月が大きく見えるス
ーパームーンが重なってス
ーパースーパーブルームーンとなっ
た。次回の同現象は7年後
の2030年となる。

2022年11月8日
自宅裏にて。
月と金星が大接近。月の
下方に小さく白く見える
点が金星。その数分後に
月の後ろに入った。いわ
ゆる金星食という現象。

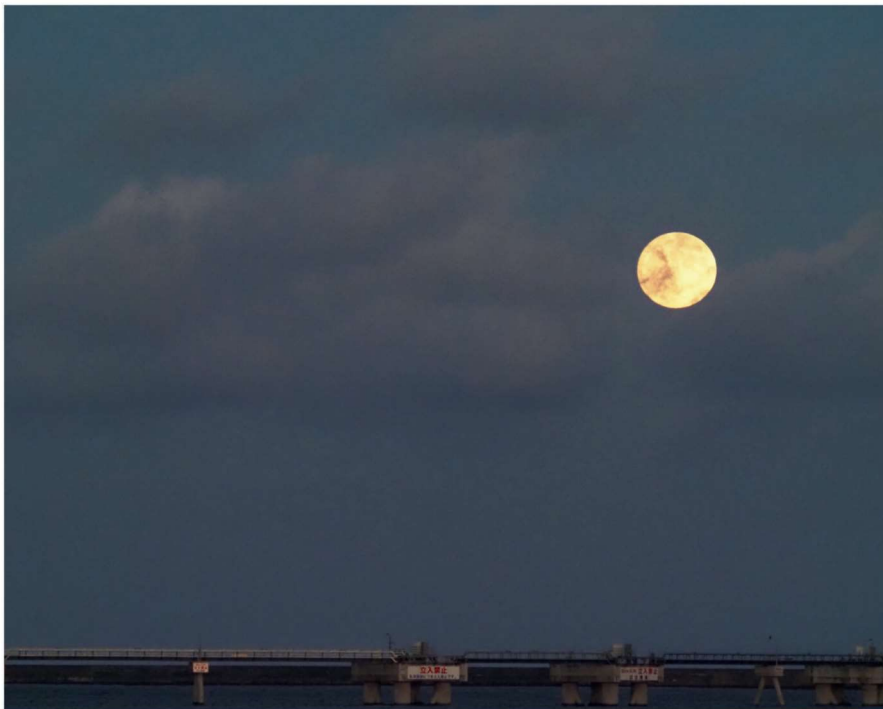




2021年6月10日午前4時半
大子町尺丈山にて。
山裾から昇る朝陽が撮れた。
薄黒い山裾と朝陽と橙色に染
まった空の合体となった。

2019年6月30日
タイ国のシャム湾に
面するリゾート地
チャームにて。
地平線から昇る朝陽と
海辺に立って漁の可否
を確認する漁師。





2021年9月20日
日立港沖を対岸の東海村豊岡
海岸から。
海上に設置されたガスパイプ
ラインと上がる満月。

2022年12月8日
東海村豊岡海岸にて。
満月に照らされた
雲と海上に月の明かりが
反射して道のように見える
現象 ムーンロード。

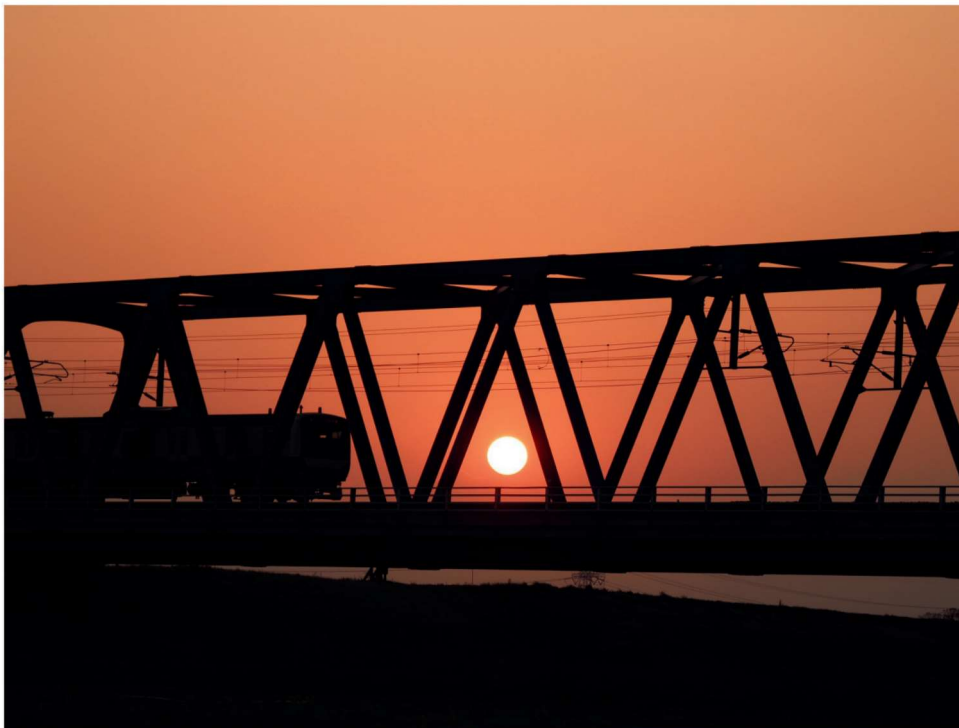




2020年4月6日
自宅近くの林にて。
満開の桜の上に白い満
月が通常「静かの海」
と言われる灰色の部分
を見せながら上がって
行く。

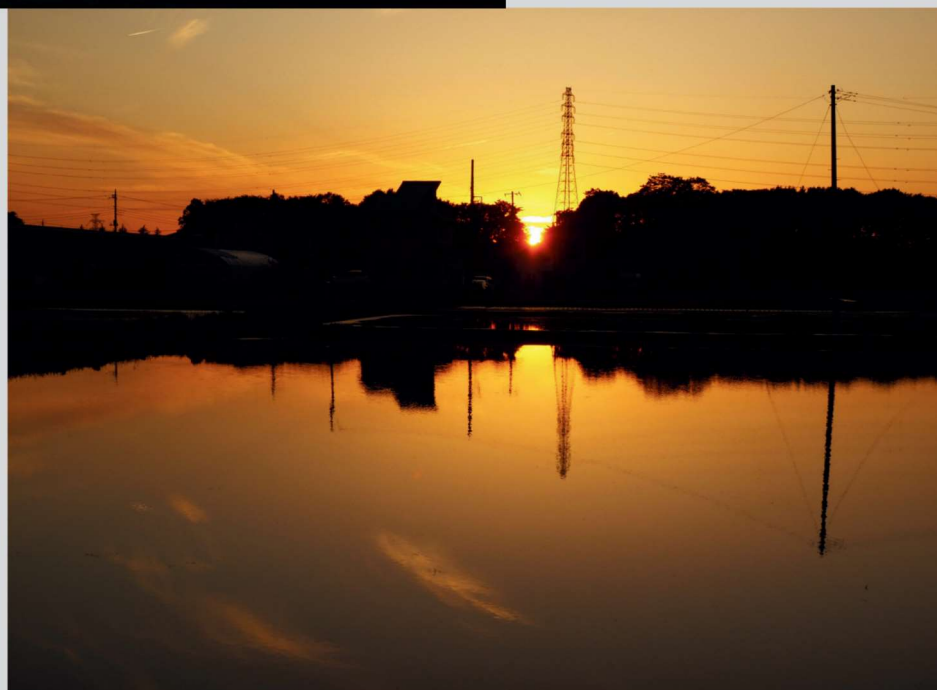
2020年11月30日
日立港を久慈川加工対岸の
東海村側から。
ライトアップされたガスタ
ンクと雲の合間に見える満
月が水面に映り込んでいる





2020年4月8日
常磐線久慈川鉄橋にて。
鉄橋の三角状の間に沈む
夕陽と下り線電車のコラ
ボレーションを捉えるこ
とができた。

2020年5月14日
二軒茶屋交差点の近く。
田んぼで田植え前の水面
に夕陽と民家が映り込ん
だ中々見られない光景。





2021年2月5日
東海村村松虚空蔵尊にて
北極星を中心にリング状
の星の軌跡と建物周辺の
ライトアップとのコラボ
レーション。

2021年1月14日
久慈川河川敷にて。
鉄橋を走る前哨灯で白
線状になった上り特急
と北極星を中心のリン
グ状の星の軌跡。





2022年1月4日
自宅近くの空き地にて。
北極星中心の星の軌跡。
両側の赤い直線は飛行機の
ライトの光跡。

2021年1月14日
久慈川の留大橋近くにて。
同上星の軌跡。白い光の
直線は橋上を東海方面に
走る車の前哨灯の光跡。

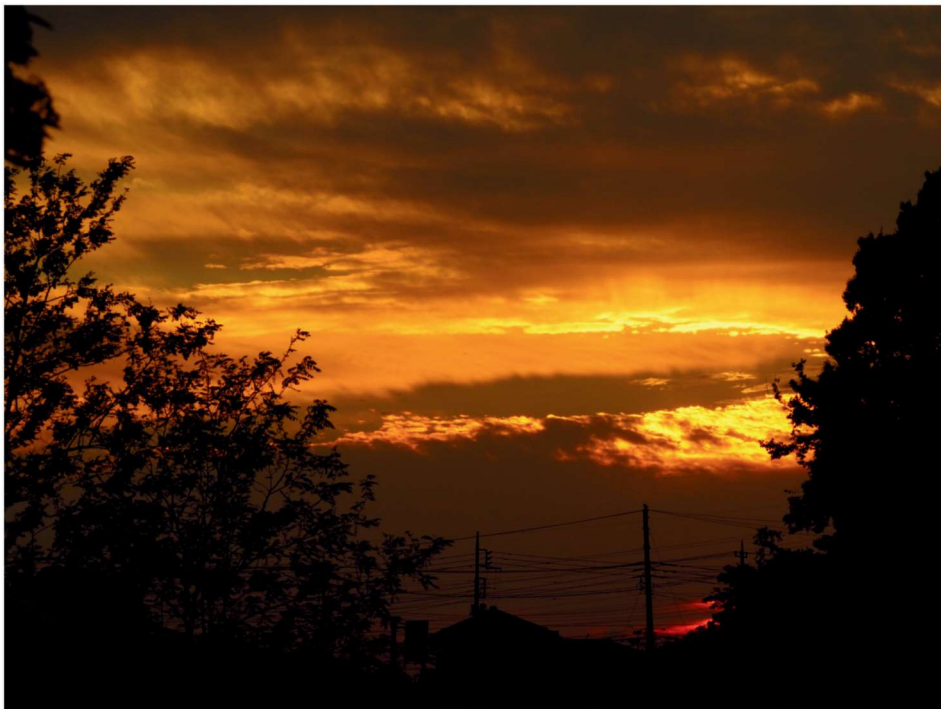




2020年12月13日
大洗海岸にて。
岩場の鳥居と星の軌跡。
方向が東南東につき右回
転と左回転に軌跡が分か
れた。

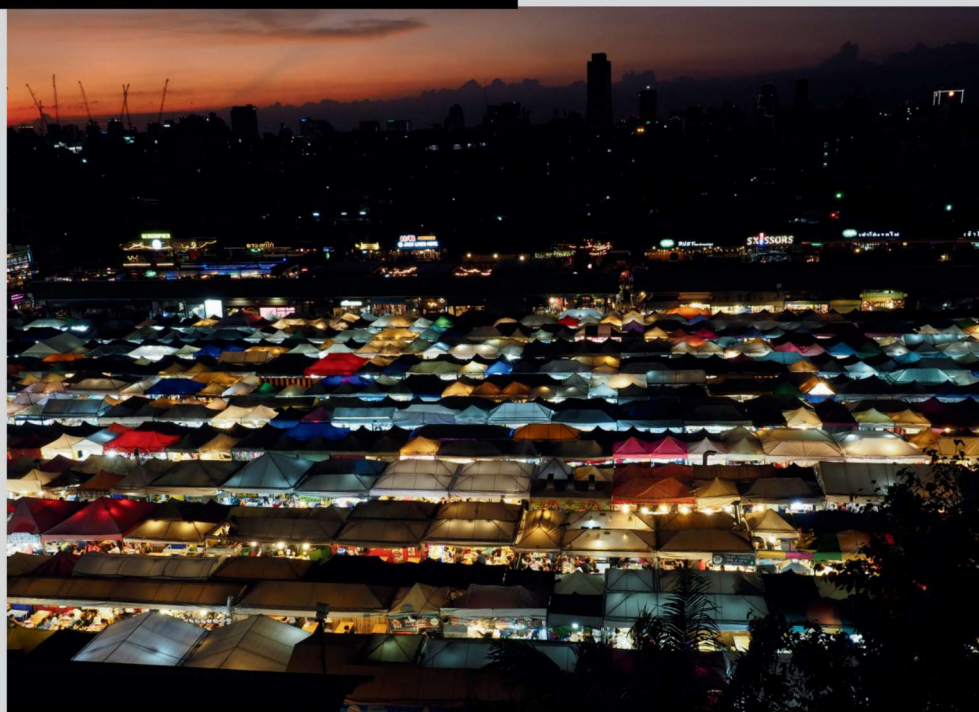
2020年12月25日
久慈川の日立側堤防
を東海村側から。
同上の星の軌跡。日
立港の照明が水面に
映り込んでいた。

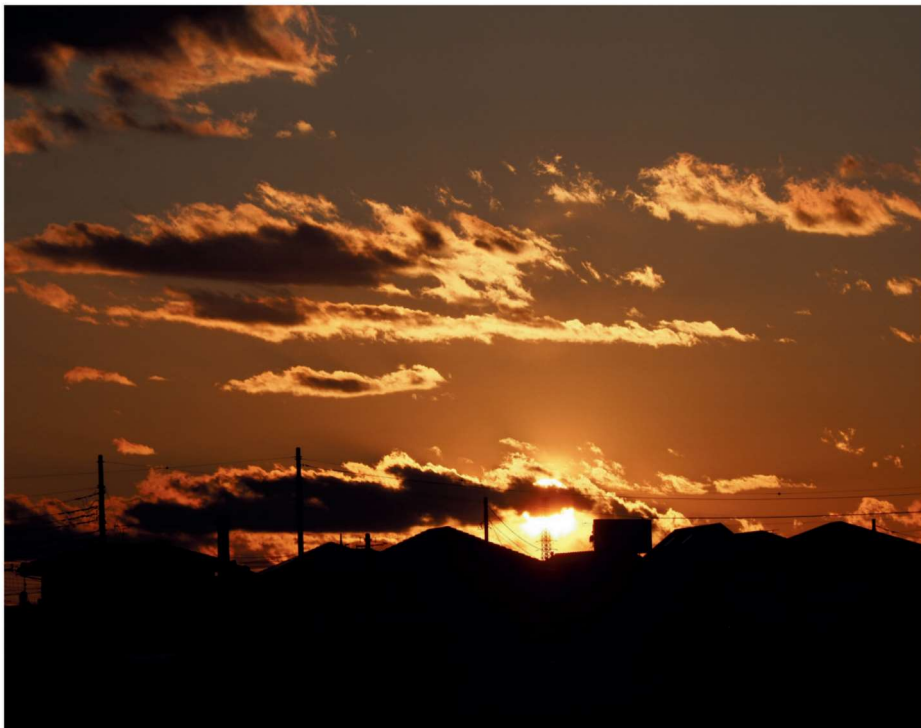




2020年3月24日
自宅近くにて。
夕暮れ時に茜色に輝く
空と灰色の雲の
コラボレーション。

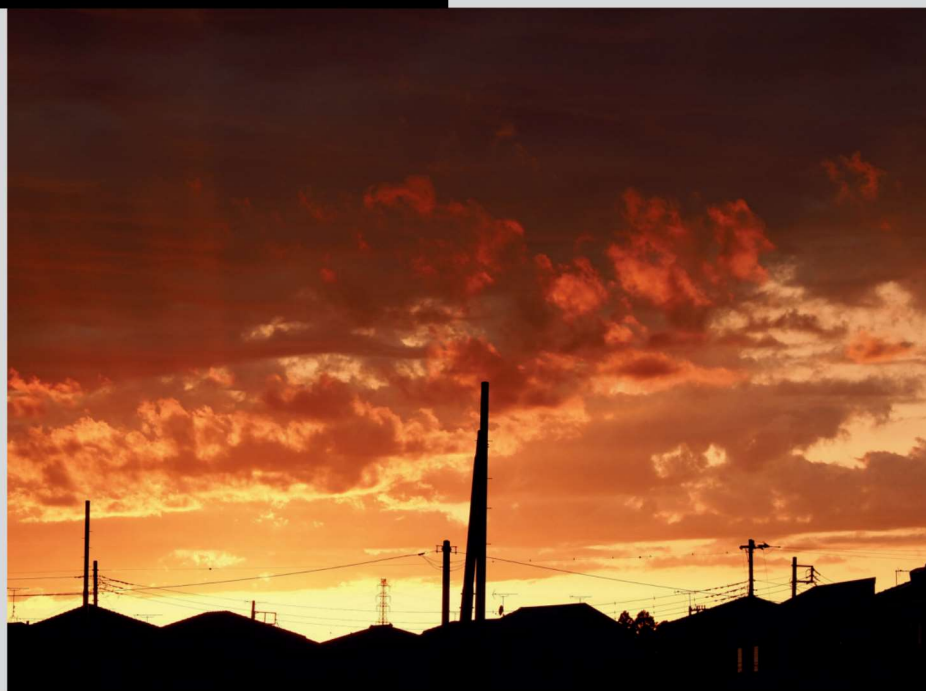
2019年6月30日
タイ国バンコクにて。
夕焼けとナイトマーケ
ットの照明。宝石を散
りばめた指輪のよう
として知られている。





2020年5月10日
自宅裏にて。
西空に沈む夕陽に
照らされて輝く
雲いろいろ。

2020年4月22日
自宅近くにて。
夕焼けのグラデーションと
その中に聳え立つ鉄塔と
電柱。





2023年8月24日
東海村文化センターの
近くにて。
今年の夏は熱暑のせいか
入道雲の発生が多い。
中央上部に犬が右方向を
向いているように。

2023年8月30日
東海村歴史館の近く。
右側に大きな円が歴史館
の屋根の上に描かれたよ
うに。





2023年8月22日
自宅近くにて。
動物が左方向に口を開いて
獲物を狙ってるように。

2023年8月21日
東海村役場近くにて。
議会棟の屋根の上にぼ
っかりと浮かんだ雲が
数字の7のように。





2023年8月12日
自宅近くにて。
大きな魚が口を開いて左方
向に泳いでいるように。

2023年6月7日
自宅近くにて。
入道雲（積乱雲）が
地上から湧き上がる
湯煙のように。





2023年8月3日
自宅近くにて。
子供が楽しそうに
泳いでいるように。

2023年8月4日
東海村図書館近くにて。
ワニが大きく口を開いて
獲物を狙ってるように。





2023年8月12日
自宅近くにて。
池の中をゆっくり
遊泳するコイのように。

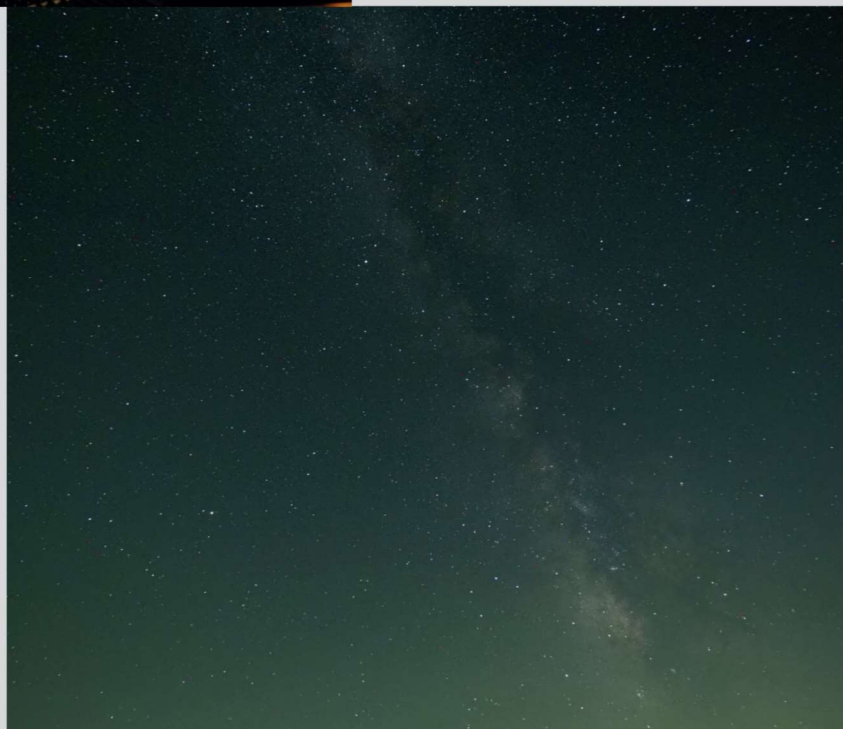
2021年4月7日
東海村役場の近くにて。
半月の上を羽田空港へ
向かう航空機で
あと30分ぐらいで着陸。





2021年7月11日
自宅二階ベランダにて。
夕陽に照らされた半円板
状の虹。

2021年6月10日
大子町の尺丈山にて。
午前2時に東の空に薄ら
と浮かんだ天の川。



編集後記

今回東海村スマホクリエイターズLab.にて本写真集を発刊する機会を得られたことに先ずもって感謝申し上げます。2010年に一眼レフカメラを買って趣味のとして写真教室、撮影会、写真展等活动してきました。ここ10年ぐらいは事情により近隣で撮る機会が増え、又、スマホの高機能化によりカメラに劣らない写真が軽便に撮れるようになり、結果的にはいつでもどこでも撮れる空に、即ち、月、太陽、星、雲等とそれに関連する風景写真が多くなりました。特に今回めったに見れない金環日食、皆既月食、中秋の名月の写真をお見せ出来るのは幸いです。

発刊日：2024年2月吉日

撮影と編集：田中克朋

監修：花島絵美

発行：東海村スマホクリエイターズLab.